

枕草子

原文

春は、あけぼの。
やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて
紫だちたる雲の、細くたなびきたる。

現代語訳

春は明け方（がいい）趣がある。
だんだんと白くなってゆく山ぎわが少し明るくなって
紫がかった雲が、細くたなびいている（のがいい）。

重要語句

あけぼの ↓ 明け方

やうやう ↓ だんだん

山ぎは ↓ 空が山に接する部分

